

平成28年度 和白青松園事業報告書

1. 入所実績

○ 定員	90名
○ 延定員	32,850名
○ 入所日数	365日
○ 延入所児数	26,335名
○ 平均入所児数	72名
○ 入所率	80.1%

(1) 入所状況

(単位は% : 名)

月区分	4月初	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
幼児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7
小学校	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20
中学校	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
高校生	18	18	18	18	18	18	16	15	14	14	14	13	7
その他	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1
合計	75	75	75	75	75	75	73	71	70	70	70	69	59
入所率	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	81.0	79.0	78.0	78.0	78.0	77.0	66.0
入所 合計 0名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所 合計 16名	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	1	10
一時保護委託 利用者人数 合計 0名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショートステイ 利用者人数 合計 87名		3	10	4	10	4	11	8	7	5	9	9	7

(2) 入退所理由

(単位：名)

入所理由 区分	虐待	就労	疾病	拘禁	養護	その他	計
年度初現在数	25	11	16	3	17	3	75
入所数	0	0	0	0	0	0	0
退 所 数	措置変更	2	0	0	0	1	3
	家庭引取	2	1	0	1	1	5
	就職・進学	2	0	1	0	5	8
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	6	1	1	1	7	16
年度末現在数	19	10	15	2	10	3	59

2. 児童の処遇について

(1) 基本方針・基本理念

①基本理念

児童一人ひとりの立場に立って人権を養護、尊重し最善の福祉サービスを提供することを目指します。

②基本方針

人権尊重を養護の基本とし、事故の防止、疾病の予防に万全を期し明るく健やかに日常生活を送れるよう温かい環境作りに努力する。

* (家庭に近づけ、健康で、いつも笑顔の明るい夢のある生活)

(2) 目標の反省

☆私たちはかけがえのない存在です。お互い思いやりを持って優しい気持ちで接して行きましょう。
＝個別の関わりの際には優しい言葉や態度を見ることが出来た。集団になると互いに心無い面が出て来る為、出来るだけ個別に関わる事ができる環境を提供し、余裕をもって生活することで習慣づけていく必要性を感じた。

☆一人ひとりが目標を持ち、あきらめず一生懸命に努力しやり遂げましょう。

＝中高生、部活動やアルバイトなどに自発的に取り組む様子は28年度も継続して見られた。小学生や幼児についても、ホーム内の小さなお手伝いなど、家庭的な取り組みも増えてきたように感じた。学習面などに課題残るが、通塾などを行い受験に臨む児童も増加した。

☆まわりの人に素直に「ありがとう」が言える感謝の気持ちを持ちましょう。

＝ホーム内での感謝の気持ちや思いやりの表現については、個人差が見られ、素直に表現できる児童とそうでない児童の格差があった。今後も職員が率先して表現していく取組みを常態化していく必要が感じられた。

☆みんなで話し合った事や決まりをきちんと守り、責任感を持ちましょう。

＝ホーム内のルールや約束事については、ホームごとに設定が違うため、一概には言えないが、気持ちよく取り組んでいるホームとあまり取り組んでいないホームとの差が見られた。こどもたちと職員が共に生活するホームを皆で住み良くしていく目的を共有し取り組んでいく必要がある。

(3) 具体的内容

- ① 幼児 ○就園児 …幼稚園に通園し、運動会やお遊戯会、マラソン大会、楽器演奏会などのイベントを通じ、児童の頑張りや自己表現を多く見ることができた。
- ② 小学生 ○生活支援…町内育成会の活動に積極的に参加し、地域との交流を図る機会を多く持つことができた。地域の方々に声をかけて頂く機会も増え、こどもたちの成長を見守って頂いた。施設内の生活においては、少人数での生活により、小学生同士の喧嘩やいざこざは少なくなっているが、まだまだ児童のそれぞれの甘えや表出する行動の受け止めは不十分であり、充足していく必要性もあった。
○学習支援…帰宅後の宿題や翌日の準備などは定着しつつあった。ホーム毎の取組としては、児童ごとの学力に合わせた問題集や学習塾など、個別にペースを設定し支援を実施した。
- ③ 中学校 ○生活支援…部活動や学習塾への取組みを積極的に行う児童がいた一方で、学校を簡単に遅刻・欠席したり、不登校になる児童がいたり、差が激しくみられた。学校に足が向かない児童の支援内容の充実を図る必要があった。
○学習支援…学習塾に通塾する児童が増え意識の向上は見られたが、施設に帰宅してまで学習する点については、塾の課題でいっぱいいっぱいという状況であった。施設内での学習支援が不十分な面を学習塾で補ったが、部活動に参加する児童も含め、1年時から塾への取組みを充実させる必要があると感じた。
- ④ 高校生 ○生活支援…アルバイトへの取組みを中心に、卒業後を視野に入れた活動や支援を多く実施することが出来た。反面、自由度が増し、帰宅時間の遅延なども見られるようになった。ただ、反発的な行動は少ないため、建設的な支援を行うことが出来た。

○学習支援…学習面に課題はあったが単位取得できないようなことはなかった。
進路についても、学校求人を中心に、比較的早期に就職や進学などを決定することが出来た。

○進路…高校卒業生 6名（進学1名・就職5名）

進学 ・至誠館大学ライフデザイン学部

就職 ・株式会社小森 ・株式会社岩下組
・株式会社ビジネス フカイービス ・株式会社ジェイデバイス
・株式会社グッドラック

3. 職員について

(1) 人員について

(単位：名)

職種 区分	園長	事務員	家庭 支援 専門 相談員	個別 対応 職員	里親 専門 相談員	保育士	心理 士	看護 師	栄養 士	調理 員等	合計	
						児童 指導員						
定数	1	1	1	1	1	24	1	1	1	4	36	
4月1日在籍数 含同日採用	1	1	1	1	1	(15)	(3)	1	1	(1)	(19)	
						25	1					4
異動	年間退職者数 含3月31日 付退職	1	0	0	0	1	(3)	0	1	0	(1)	(4)
							5					
年間採用者数 除4月1日 付採用	0	0	0	0	0	0	(1)	0	0	0	(1)	(2)
							0					
3月31日在籍数 除同日退職	0	1	1	1	0	(13)	(3)	0	1	(1)	(17)	
						20	1					3

*嘱託医1名、()は非常勤職員・パート職員を示す。

(2) 充足等について

職員定数(4.5:1)は36名であるが、実人数は37名でスタートした。

職員定数4:1を目指したが、本年度の職員の充足はできなかった。

非常勤保育士1名・非常勤調理補助1名 中途採用

(3) 研修等について

職員のケアワーカーとしての資質向上のため、県内外の研修会やその他諸々の研修会に積極的に参加し、入所児童の処遇向上を図った。

4, 22	防災研修	1名	10, 1	子どもの村研修会	2名
5, 26	市乳養協新任研修	8名	10, 20～21	市乳養協一泊研修	6名
6, 2	指導者研修	3名	11, 11	看護師研修	8名
6, 9～10	大都市社会福祉施設協議会	2名	11, 15～17	全国児童養護施設施設長研究会	2名
6, 14～16	九州ブロック研修	4名	11, 24	法人研修	7名
6, 21	調理従事者研修	1名	11, 24～26	日本子ども虐待防止学会	2名
7, 1	福岡子供の家職員研修	3名	11, 28～29	県養協主任等研修	1名
7, 6	人権・同和研修	1名	12, 6～8	指導者研修	1名
7, 15	市乳養協施設見学	8名	1, 17～19	全養協中堅職員研修	1名
7, 17～18	大都市社会福祉施設協議会	1名	2, 6～7	県養協一泊研修	4名
7, 23～24	小児看護学術集会	1名	2, 9～10	ファミリーソーシャルワーカー研修	1名
7, 23～24	性教育研修会	1名	2, 12	職員研修会	3名
7,29～8,1	人間と性教育研修会	1名	2, 26	子どもの里に学ぶ研修	3名
9, 13～15	西日本セミナー	7名	2, 28	福岡子供の家職員研修会	2名
9, 2～3	看護師研修	1名	3, 9	こども総合相談センター研修会	6名
9, 27～28	社会福祉士実習指導者講演	1名			

4. 施設整備について

- 固定資産物品 …… ・事務所用プリンター ・多目的ホール大型テレビ
 ・男児ホーム防犯装置設置工事 ・
 ・幼児用バス（廃車）

5. 主な出来事

4, 3	和白青松園 桜まつり	9, 22	幼稚園 運動会
4, 24	中学校区球技大会	10, 2	小学校 運動会
5, 3～5	ゴールデンウィーク外泊	10, 9	校区体育祭
5, 5	和白病院招待	10, 10	青松園第49回大運動会
5, 11	法人監査	11, 4	福岡市行政指導監査
5, 21	第一ライオンズ 海掃除	11, 23	もちつき (あつくてよかるうもん)
5, 29	中学校 体育祭	11, 24	法人研修
6, 5	小学生球技大会	1, 1	年賀の会
6, 19	福岡市児童養護施設球技大会	1, 2～3	正月行事
7, 19	夜間避難訓練	1, 28	第24回つばさ定期演奏会
7, 22	権利擁護委員会	3, 4	巣立ちを祝う会
7, 28～29	福岡県児童養護施設球技大会	3, 21	権利擁護委員会
8, 6	まつり三苦		
夏休み	部屋キャンプ		
8, 23	児童面接		
9, 4	博多食文化の会食事招待		

6. 苦情解決処理委員会について

- ・保護者より ○入所児童の保護者からの電話の際に対応した職員が誤認し、別の児童に取り次いでしまう。話がかみ合わず口論になり、職員が変わるも同じ状況で、電話を切られてしまう。その後、同保護者から再度連絡があり、その際は実子に対応するが、先程の内容を保護者が話され、更に混乱してしまうが、状況を踏まえ再確認したところ、保護者を誤認識したことがわかった。保護者にも説明し理解を得る事はできたが、個人情報保護のためにも、今後の再発が無いように言われ、施設としても今後同じことが無いよう努める旨をお伝えした。
- 7、19 法人本部第三者委員会 第三者委員参加

7. 権利擁護委員会

- 平成27年度からの性的虐待を含む不適切な対応についての改善報告をもとに協議を行った。職員研修の実施と養育マニュアルの作成、スーパーバイザーの導入についてなど、平成28年度以降の改善案について報告を行った。

8. その他について

① 安全管理

- 防災訓練・・・消防署の指導による防災訓練を実施、また年2回の通報訓練を行った。
(避難、消火、通報訓練・地震避難訓練)

- 健康管理・・・例年通り児童や職員の定期検診・全職員の腸内検査を実施。また、全児童・全職員にインフルエンザの予防接種を実施し、病気の予防や体調管理に努めた。感染性の高い病気もホームでの生活により、感染の拡大が最小限に止まる効果も見られた。
 - 衛生管理・・・各ホームでの手洗い・うがいの奨励を行なうと共に、施設内での感染性の高さを意識付け、食中毒予防など衛生意識向上に努めた。食事の配膳の際のエプロン・三角布の着用の徹底。
保健所指導のもと調理室の衛生管理を実施した。
- ② 地域交流・・・三苦夏まつり（たこ焼き店出店）への参加、桜まつり・運動会を開催し地域の皆さんとの交流の場とした。
町内育成会行事への児童・職員の参加を実施し、施設外での活動の支援を実施した。
- ③ 各種事業・・・地域小規模児童養護施設「あすなるホーム」「結実ホーム」、小規模グループケアホーム「松籟ホーム」、家族療法事業ホーム「いまここホーム」等の各種事業を実施し、自立援助や家族再統合を目標に、こどもたちが安全で安心して生活できるよう配慮した。
- ④ 後保護・・・お盆・正月を含め施設のイベント等には参加を呼び掛けた。
出張時など、連絡が取れる卒業生とは現地にて交流を持った。
- ⑤ 実習生、ボランティアの受け入れ
- 実習生（大学、短大、その他）
 - ・ 受け入れ校…16校、実習日数3日～10日、実習実人員73名
 - ボランティアの受け入れについて
 - ・ ボランティアの受け入れについてはマニュアルを作成し、職員に徹底し意思の統一を図った。
 - ボランティア（招待）（敬称略）
 - ・ 納涼例会、野球観戦…福岡第一ライオンズクラブ
 - ・ 食事…博多食文化の会／焼肉極味や／坂本氏・平山氏／和白病院／ゼンマイ労働組合
 - ボランティア（訪問）（敬称略）
 - ・ 理容奉仕（move、約50名）
 - ・ 余暇活動（養問研、他5団体約70名）
 - ・ 労働奉仕（福岡第一ライオンズクラブ、フィリップモリス）
 - ・ 学習指導（対象児童2名、週一回）

○ 寄付物について (敬称略)

- ・不二精機 (おもちゃ、雑貨) ・セック労働組合 (たこ焼き機 4 台)
 - ・NPO 法人まちづくり LAB (遊具玩具、商品券)
 - ・三菱電機株式会社九州支社 (テレビ 3 台) ・福岡第一ライオンズクラブ (食材)
 - ・パイオニア産業 (洗濯機 2 台) ・(株)カーブス (食材) ・藤堂和子 (食材)
 - ・(株)博多不動産 (ケーキ、玩具) ・(株)環境開発 (菓子、図書カード) ・他 4 5 件
- 全 5 5 件 計 2,725,000 円

○ 寄付金収入 (敬称略)

・ Back Door Bar	470,000 円	・ 和白青松園大運動会有志一同	108,000 円
・ (株)西日本洗管サービス	300,000 円	・ 福岡ダイハツ販売労働組合	100,000 円
・ 酒井一郎	300,000 円	・ 福岡文化ライオンズクラブ	100,000 円
・ 服部常盤	200,000 円	・ 福岡第一ライオンズクラブ (育英資金)	100,000 円
・ 福岡第一ライオンズクラブ	200,000 円	・ 高千穂株式会社	100,000 円
・ 学校法人福岡保健学院	191,000 円	・ 株式会社アペゼ	100,000 円
・ 巣立ちを祝う会有志一同	155,000 円	・ 株式会社玉屋	100,000 円
・ アビビル(株)博多工場	120,000 円	・ 他 11 件	357,469 円
・ 福岡生命保険協会	111,000 円		
		全 27 件 計	3,112,469 円